

ニュース高等専修

令和2年度文部科学省委託事業／成果報告会 ■高等専修学校の機能高度化推進事業

学びのセーフティネット機能の充実強化 調査研究、地域連携分野合同で



あいさつする清水会長

令和2年度文部科学省委託事業・高等専修学校の機能高度化推進事業『学びのセーフティネット機能の充実強化』の調査研究分野と地域連携分野合同の成果報告会が2月17日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発出に伴いオンラインも併用、関係者45人が受講しました。

開会あいさつで全国高等専修学校協会の清水信一会長は「現場では生徒の安心と安全のためにアイデアを出し、教育活動を止めない工夫を続けてきました。コロナ禍の一次・二次補正で、高等専修学校が私立高校と同額の補助対象となったことは喜ばしいことでした。一方、私立学校振興助成法の対象外で学びのセーフティネットが確立されていないことは問題で

大きな格差を是正し、安定的な学校経営をめざしていきます」と語りました。

報告会の前半は「高等専修学校の機能高度化に関する調査研究」について。アンケート調査の結果報告や、地域振興分科会の実施報告として愛知県の安城生活福祉高等専修学校と佐賀星生学園の事例が紹介されました。

令和2年度高等専修学校の実態に関するアンケートでは、不登校生徒の現状やインクルーシブ教育のほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応など計11項目を調査しました。全国高等専修学校協会会員180校のうち111校が回答（回収率61.7%）しました。

それによりますと、発達障がい及び身体障がいのある生徒数は、回答のあった全学年生徒数1万5263人のうち、「発達障がい」が1762人（11.5%）、「発達障がい」が疑われ、何らかの支援が必要と思われる」が1303人（8.5%）、合計20.0%でした。これは高等学校（2.2%）の約9倍にあたります。このほか新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の対応として「生徒一人ひとりパソコンやタブレット等の整備」の問いに対し、87校（78.4%）が「整備されていない」と回

答しました。

後半は「高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進」として委託事業6校が成果を報告しました。地域の中学校や企業等との連携など、それぞれの教育内容を共有しました。

農村にあった小学校跡地を利用して農業の知見収集からスタートした猪名川甲英高等学院（兵庫県）は、「地域×生徒×農業—専修学校を核とし相互課題を解決するネットワークの構築」をテーマに、農業教育、地域連携、自立支援の3つのプロジェクトの経過と方向性を発表しました。農業教育では卒業生の就農に向き合い、学校が主体となって農業法人を設立。耕作放棄地の活用とともに農家の指導や機材の貸与、少子高齢化する農村に活力を与える若者の就農支援などについて報告しました。

質疑応答のあと、文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の佐々木俊治専門官が「配慮が必要な生徒への支援、卒業後のフォローなどにきめ細かく取り組んでいるほか、地域の特性を踏まえた連携体制が構築されていました。今年度から短く動画にまとめ、YouTubeで公開するなど事業の成果の周知を図っていきます」と述べました。

猪名川甲英高等学院以外の成果報告のテーマと発表校は次の通り。

▷発達障害など特別に配慮が必要な生徒の社会自立のための教育・就労支援及び卒業後の定着フォロー支援モデル事業＝武蔵野東高等専修学校（東京都）▷高等専修学校で学ぶ生徒の自立を支援するための産学連携モデルの構築＝野田鎌田学園高等専修学校（千葉県）▷高等専修学校生の社会的自立を支援する地域社会と連携したネットワークシステムの構築＝豊野高等専修学校（長野県）▷様々な問題を抱える高等専修学校生が社会人として定着するための地域ネットワークシステム構築事業＝大阪技能専門学校（大阪府）▷地方都市で学ぶ高等専修学校生の経済的自立を支援する地域ネットワークシステムの構築＝大岡学園高等専修学校（兵庫県）

（独）日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に全ての高等専修学校生徒が加入しましょう。

◎低い掛金で厚い給付が行われます。◎学校の責任の有無にかかわらず、給付の対象となります。

【災害共済給付制度の特色】◎学校の責任において提供した食物による0-157等の食中毒、熱中症やいわゆる突然死も給付の対象となります。

◎全国高等専修学校体育大会に参加するには「災害共済給付制度」加入が必要条件です。

第30回全国高等専修学校体育大会

7競技25種目で熱戦繰り広げる



男子駅伝競走で優勝した細谷高等専修学校



軟式野球で優勝した大和商業高等専修学校



「第30回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益財団法人JKA、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、専門学校新聞社後援)が8月25、26の両日、山梨県富士吉田市の富士北麓公園で開催されました。

この体育大会は、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などが目的です。職業教育に取り組む高等専修学校生にも、同年代の高校生と同様に、高校総体のような“夢舞台”を与えようと平成3年、協会や教職員、選手が一体となり、手作りの第1回大会が開かれました。回数を重ねるごとに規模も大きくなり、今回は公益財団法人JKAによる「競輪公益資金」の補助を受けて実施されました。

30回の節目となる今大会は、新型コロナウイルス感染防止のためやむを得ず規模を縮小し

ました。選手の接触が避けられないバレーボール、バスケットボール、フットサルの3競技を中止したほか、日程の短縮などの対策も図りました。さらに全国高等専修学校協会体育振興委員会は大会実施に伴う「感染症対策ガイドライン」を作成。出場校に健康観察票の提出や競技を行う際の留意点を徹底するほか、北麓公園の「感染拡大予防ガイドライン」にも則り、開催中は定期的な巡回や選手の体調確認など、入念な感染防止策を行いました。

世界遺産の富士山が間近に迫る北麓公園体育館で開催された開会式には、来賓ならびに大会役員、代表選手らが出席しました。主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が「新型コロナ感染者数の増加で開催が危ぶまれましたが、多くの皆様のご尽力と工夫によって今日を迎えることができました。主役である選手の皆さんは安全に留意し、良い思い出を持ち帰ってください」と、またNPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長もあいさつしました。

次に来賓を代表して、文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の佐々木俊治専門官が「コロナ禍の影響で休校や家庭学習による一人での勉強、先の見えない状況が続く不安を感じたと思います。そのような中でこの日を迎えられたことは皆さん一人ひとりの努力と支えてくれた方々の賜物です」と

選手を激励しました。その上で「スポーツは競うだけでなく、心身を豊かにし、精神を育む人間形成の基礎となる側面もあります。ともに汗を流した仲間や応援してくれた家族、指導された先生への感謝を忘れず、日頃の練習の成果を存分に発揮されるよう期待しています」と金城太一室長の祝辞を代読しました。

続いて自由民主党の赤池誠章参議院議員は「今後も新型コロナと向き合いながら教育やスポーツ、さまざまな暮らしが進んでいきます。このような状況下で入念な対策を図って大会を開催することに大きな意義があります。先生方の努力に敬意を表するとともに、選手には怪我なく競技に挑んでください」と激励しました。

これらに答えて、東海学院文化教養専門学校高等課程の杉田悠、大和商業高等専修学校の力武楓の両選手が力強く選手宣誓を行いました。

今大会には茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫から8校218人の選手が出場しました。軟式野球、卓球、陸上競技、自転車競技、バドミントン、スポーツウエルネス吹矢、駅伝競走の7競技で公園内の野球場や陸上競技場を舞台に熱戦が繰り広げられました。

競技の結果、大和商業高等専修学校が軟式野球、卓球男子団体、自転車競技男子団体の3種目で有終の美を飾りました。また、細谷高等専修学校が陸上競技4×100メートルリレー男子、駅伝競走男子、武蔵野東高等専修学校が自転車競技女子団体、スポーツウエルネス吹矢団体の2種目をそれぞれ制覇しました。大竹高等専修学校はバドミントンの男女団体でアベック優勝を果たしました。



第30回記念誌「あゆみ」を作成し、関係各所へ配布



第30回大会競技別成績結果(団体の部)

種目	優勝	準優勝	第3位
軟式野球	大和商业高等専修学校	武蔵野東高等専修学校	
卓球	男子 大和商业高等専修学校	武蔵野東高等専修学校	大岡学園高等専修学校
陸上競技	400mリレー男子 細谷高等専修学校	大和商业高等専修学校	武蔵野東高等専修学校
自転車競技	男子 大和商业高等専修学校	大竹高等専修学校	
	女子 武蔵野東高等専修学校	大竹高等専修学校	
バドミントン	男子 大竹高等専修学校	大和商业高等専修学校	
	女子 大竹高等専修学校	大和商业高等専修学校	
スポーツウエルネス吹矢	武蔵野東高等専修学校	大和商业高等専修学校	東海学院高等専修学校
駅伝競走	男子 細谷高等専修学校	武蔵野東高等専修学校	

第30回大会競技別成績結果(個人の部)

種目	優勝	準優勝	第3位
卓球	男子 中里勇士郎 (大和商业)	曾爾歩 (武蔵野東)	大垣恋偉 (大岡) 大友優音 (武蔵野東)
	女子 谷村和 (大岡)	山田美弥香 (大岡)	
陸上競技	100m男子 秋山峻登 (細谷)	満所神騎 (細谷)	山下雄大 (武蔵野東)
	100m女子 高田愛花 (大和商业)	庭山優希 (大竹)	
	400m男子 飯田開晟 (細谷)	細田悠貴 (大竹)	柏木星児 (細谷)
	400m女子 高田愛花 (大和商业)	臼井沙凪 (大竹)	相川茉実 (大和商业)
	800m男子 米澤陽人 (武蔵野東)	水野克彦 (武蔵野東)	小田樹音 (大竹)
	800m女子 中村美音 (大竹)	相川茉実 (大和商业)	臼井沙凪 (大竹)
	1500m男子 小口隼平 (細谷)	畑山直之 (武蔵野東)	竹中佑 (武蔵野東)
	走り幅跳び男子 秋山峻登 (細谷)	會田叶門 (大和商业)	齊藤優心 (大和商业)
	砲丸投げ男子 吉野麟 (大和商业)	木村司 (大和商业)	
	自転車競技	男子 細田悠貴 (大竹)	駒井瓜斗 (大和商业)
女子 笹沼乙萌 (武蔵野東)		臼井沙凪 (大竹)	天竺桂萌 (武蔵野東)
バドミントン	男子 渡利連 (大竹)	曾我悠太 (大竹)	鈴木澄 (大竹) 松土慶太 (大和商业)
	女子 山内果菜 (大竹)	菊池蒼依 (大竹)	松崎史佳 (大竹) 力武楓 (大和商业)
スポーツウエルネス吹矢	吉野翔大 (武蔵野東)	笹沼乙萌 (武蔵野東)	ポムサンタシワコン (東海)



- #### 大会出場校
- ▷茨城県 東海学院文化教養専門学校高等課程 細谷高等専修学校
 - ▷東京都 大竹高等専修学校 野田鎌田学園杉並高等専修学校 武蔵野東高等専修学校
 - ▷神奈川県 大和商业高等専修学校
 - ▷愛知県 豊橋ファッション・ビジネス 専門学校高等課程
 - ▷兵庫県 大岡学園高等専修学校

令和2年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助	設備費補助	生徒への助成	授業料軽減	本会会員校数	R2高等課程生徒数	R2高等学校運営費補助
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @64,990 円 @…生徒一人あたり その他学校法人立 @41,068 円	○	○	○	4	824	352,144
☆ 青森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @29,365 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @13,280 円		○	○		203	341,621
岩手	学校法人立 @35,960 円		○	○	3	103	336,978
☆ 宮城	学校法人立指定校 1校60万円と @34,127 円 その他学校法人立 @21,219 円	○			1	253	341,272
秋田						155	355,815
☆ 山形	学校法人立指定校・技能連携校 @76,840 円 学立以外 @11,638 円 私立高等学校等特別支援教育事業補助金 高等課程（特別支援教育支援員の配置）@1,800,000 円×1校		○	○	2	28	372,655
☆ 福島	学校法人立指定校 @50,000 円 その他学校法人立 @25,000 円 非学校法人立指定校 @16,600 円 その他非学校法人立 @8,300 円			○	7	785	368,932
茨城	学校法人立 @75,000 円			○	2	603	364,428
栃木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 37,100 千円					510	341,000
群馬	学校法人立・財団法人立指定校 @80,400 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @20,040 円			○	3	320	343,551
☆ 埼玉	学校法人立 @81,750 円		○	○	2	775	306,658
☆ 千葉	学校法人立 @182,712 円		○	○	4	771	365,423
☆ 東京	学校法人立 @163,100 円 非学校法人立 @54,300 円 私立専修学校特別支援教育事業費補助金（1） @767,500 円	○	○	○	19	2,701	403,933
☆ 神奈川	学校法人立 @184,872 円 非学校法人立 @23,300 円			○	8	1,367	333,937
新潟	学校法人立 @22,400 円		○	○		154	350,655
富山		○				130	369,990
石川	学校法人立指定校・非指定校含む @35,900 円					38	378,130
福井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	34	334,375
山梨	学校法人立（県内生） 1校50万円と @4,000 円 学校法人立（県外生） 1校50万円と @2,000 円					57	354,760
長野	学校法人立（3年制一般補助） @46,440 円 学校法人立（3年制特別補助として加算） @45,000 円		○	○	1	266	342,289
☆ 岐阜	学校法人立技能連携校 @63,075 円		○	○	5	605	362,700
☆ 静岡	学校法人立 @95,000 円	○	○		11	1,340	380,323
☆ 愛知	学校法人立 @141,630 円 非学校法人立 1校978,600 円 学立・その他法人 外部から追加で人材配置 1校1,000,000 円		○	○	27	7,495	340,923
☆ 三重	学校法人立指定校 1校15万円と @30,060 円 学校法人立非指定校 @19,970 円		○	○		816	344,528
☆ 滋賀	学校法人立技能連携校 @83,000 円		○		1	59	335,000
京都	学校法人立専修学校及び各種学校総額 60,000 千円			○		357	334,875
☆ 大阪	学校法人立 @311,050 円		○	○	23	4,807	311,050
☆ 兵庫	学校法人立（大学入学資格付与校） @145,208 円 学校法人立（非指定校等） @9,903 円 非学校法人立（非指定校等） @7,319 円 大学入学資格付与（特色推進事業補助） 290 万 円		○	○	19	1,449	356,530
奈良	学立（3年制以上） 1法人120万と @35,500 円			○	4	104	351,500
和歌山	学校法人立（大学入学資格付与校） @30,000 円					52	336,620
鳥取	県内全専修学校（15校） 総額 2,100万6千円 学立高等課程・技能教育施設3校 総額 6,072万5千円			○	5	239	467,432
☆ 島根	学校法人立指定校 @107,976 円 学校法人立非指定校 @18,440 円	○	○	○		117	340,923
岡山		○	○	○	2	209	330,254
広島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	831	367,427
☆ 山口	学校法人立指定校 @80,000 円				1	366	348,500
徳島			○	○	1	200	361,793
香川			○			148	351,929
愛媛			○			193	340,923
高知	学校法人立 @21,160 円			○		3	363,035
福岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○	○	4	2,015	366,791
☆ 佐賀	学校法人立（大学入学資格付与、不登校経験や発達障がい及びその疑いのある生徒、全日制中退者等の受け入れを行っている）と対外的に明示している @292,468 円	○	○		3	680	374,504
長崎	学校法人立 @6,300 円			○		260	363,351
熊本	学校法人立指定校 @15,000 円		○	○	4	590	343,870
大分	学校制 @250,000 円					279	340,892
☆ 宮崎	学校制（学校法人立） 総額 911万4千円 学校法人立指定校 全日制 @280,700 円 同 通信制 @61,140 円		○	○	3	524	340,885
鹿児島	学校法人立専修学校運営費全体 総額 3,322万1千円				2	12	350,501
沖縄	大学入学資格付与 / 職業実践専門課程 総額 2,866万8千円			○	2	248	342,528

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

R2会員校数 2180 R2生徒数 34,075 R2高校補助金平均 353,365